

平成28年度 事業方針及び事業計画

平成28年度 事業計画の推進目標

社会情勢はアベノミクスを掲げる自民党政権が日銀を動かして、円安が進行し併せて株も上昇して平成27年7月には株価も2万円を超えて、デフレ脱却と期待されたが、中国に端を発した世界的な株価暴落が起きました。スポーツの世界では相変わらずの不況の嵐を振り払っていません。長く続いた『円高』・『デフレ』の影響でほとんどの企業の業績が低迷し、企業スポーツの撤退・縮小が目立ってきました。

市内の動きとしては、毎年春・秋の大リーグ整備の効果により、グラウンド状況は良化してきましたが、サッカー競技が開催され始めているので更なる手入れ等が必要になる可能性があります。平成25年から主管を任されている全日本実年大会県予選を更に盛り上げることで当協会の働きを県下に示したいと思っておりますのでご協力をお願いします。

当協会の最近では、協会員の高齢化が進みなおかつ戦力として活躍中の会員が不慮の事故により逝去されたり、病気によりお亡くなりになったりなど2面のグラウンドを主催するのに苦慮する状態も発生して、隣の秦野協会から応援を頂く情勢に至っています。したがって、平成25年に合格した3種公認審判員の方々に是非グラウンドに集まって頂いて、新しく戦力として活躍していただけることを期待しています。また、家庭婦人チームが戦力アップするよう各ステージ（技術講習会など）で支援します。また、好評のミニソフトボール教室開催など生涯スポーツとしての充実に努力して、次の目標をかかげ、和のきずなを強く保ちながら、楽しく、事業計画の実施に取り組んでまいりたいと思っております。

1. 生涯スポーツの推進

年少者から高齢者まで、身近で、安全に楽しめる生涯スポーツとして、その普及・発展に努め、参加者、参加チームの増加を図ります。

- ・親子ふれあいミニソフトボール教室の継続開催
- ・家庭婦人親善大会の継続開催と登録女子チームの戦力アップ支援
- ・シニアチームの充実支援
- ・少年スポーツ大会、市総体開催の協力、主管
- ・スローピッチ大会をはじめ各種市内大会の充実・開催
- ・市内小学校、中学校、高等学校への普及活動
- ・市内自治会、企業等の楽しむ大会などの開催支援

2. 競技力の向上

当市ソフトボール競技力の更なる向上を図ります。

- ・市技術講習会の継続開催

- ・ 県大会への参加支援・援助（支部対抗、クラブ、クラブ普及、ミニソフト、シニア大会等）

3. 協会と協会の資質向上、組織強化

市内諸大会の内容・運営を見直し、改善し、充実して参加者、参加チームの増加を図るとともに、楽しさ・親善を主目的にした新規事業を企画、実施します。

ホームページの拡充を図り、関係者に活用され、役立つようにします。県協会、市体協のご指導、ご援助のもとに県内各支部との交流をはじめ、各種研修会、講習会等に積極的に参加し、研鑽を積み、審判員、記録員、指導者、広報委員等の資質向上をはかり、ソフトボール競技の振興と市民の社会体育の関心を深めます。

- ・ 審判員のレベルアップ
- ・ 埋もれている審判員の発掘及び試合参加への呼び掛け
- ・ 県伝達研修会（審判、記録）への積極参加
- ・ 県大会（全日本実年大会県予選）の主管
- ・ 県各種研修会、講習会（審判、記録、指導者、技術）への積極参加
- ・ 県大会、関東大会、全国大会への審判員、記録員、広報委員等の派遣
- ・ 他支部協会、協会員と大会派遣を通じて交流
- ・ 納会、懇親会、親善大会等楽しい行事の企画、開催
- ・ 大ログラウンドの定期的な整備、ネットフェンスの更なる整備



2015.2 技術講習会



2015.4 春季大会



2015.4 壮年大会



2015.8家庭婦人親善大会